

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2014 Yuanpei University Summer School for Chinese Learning and Healthcare  
Industry Site Visit. Special program for Kyoto College of Medical Science

医療科学部 放射線技術学科 2回生 小川 沙季

私は2014年国際交流サマースクールに参加した。サマースクールにおいて、参加する目的として海外を体験する、日本と台湾の医療や文化の違いを学ぶというものがあった。

初めての海外であって私は日本との勝手の違いに非常に驚いた。これを切実に感じたのはトイレである。日本ではどこでも機能的、清潔で衛生的なトイレが当たり前であるが、台湾はホテル、空港やレストランなどでも日本のような機能的、清潔で衛生的なトイレに及ばない所があった。また、現地の学生ボランティアの人と話す中で台湾では当たり前のことが日本ではとんでもないことであったりした。このことから、日本は非常に恵まれていること、世界には様々な文化や考え方があることを学んだ。



前述のように、サマースクールに参加する目的であった日本と台湾の医療の違いに関しては、病院によって差はあるが進んでいる病院の医療技術では日本より遅れている部分があるがさほど違いは無かった。また、台湾では治療だけでなく予防、特に生活習慣改善にも力を入れるようになってきたそうである。

今回のサマースクールで、海外にまで自分の視野を広げる非常に良い体験になった。また、これから将来チーム医療に携わる人間としてグループで一つの目的を達成するにはグループ、チーム内での協力関係、コミュニケーションの重要性を改めて学ぶことが出来た。

最後に学長先生をはじめとするサマースクールにおいてサポート下さった先生方、引率の石垣先生・富高先生、サマースクールメンバー、家族に心より感謝いたします。